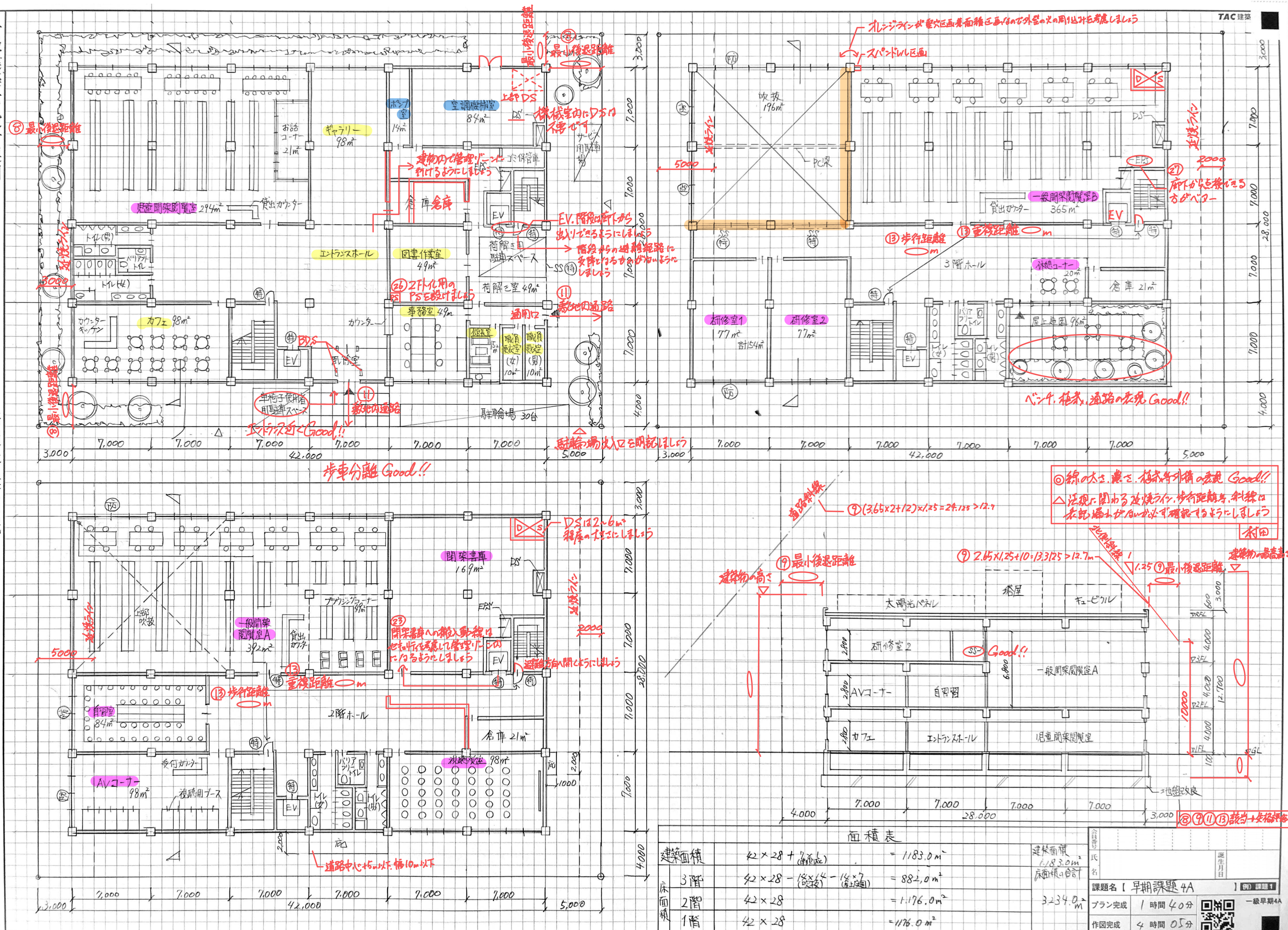




要求図面では表せない建築物の計画上の要点等について、次の(1)～(10)を具体的に記述又は図示する。

(1) 書籍のセキュリティについて考慮したこと

一般開架閲覧室A、B及び児童開架閲覧室の出入口周辺に貸出カウンターを配置することでスタッフによる利用者の監視がでる計画とした。風除室の出入口部にはBDを設置し貸出処理を行っている図書のまま施設外に持ち出されることを防止する計画とした。
Good!!

(2) 北側に公園が隣接する周辺環境を踏まえ、建築計画上特に考慮したこと

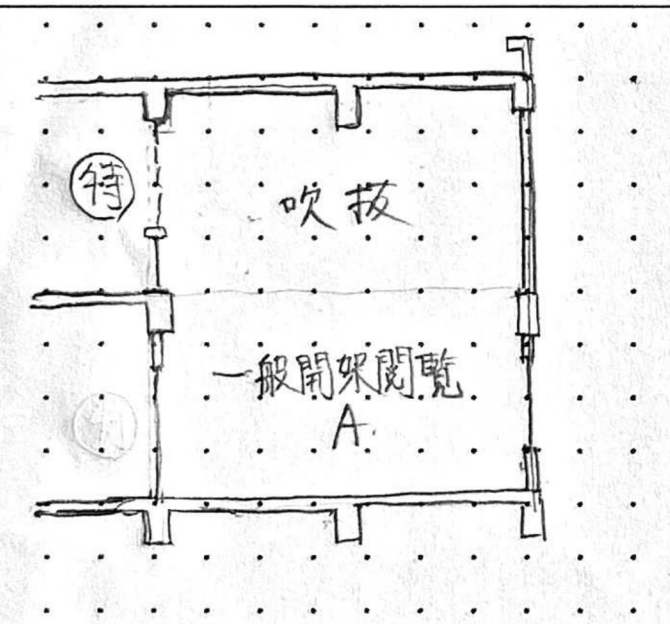
一般開架閲覧室A、B、児童開架閲覧室及びギャラリーを建物の北側に配置し、公園側をガラスサッシとすることで良好な眺望と十分な自然採光を確保し、快適な読書空間とする計画とした。
Good!!

(3) 一般開架閲覧室の室内の構成(書架、閲覧席等の配置)について考慮したこと

書架の配置をシャレニとにより、規則正しくすることで及び書架同士の間隔を十分に確保することで利用者が図書を探しやすい計画とした。また閲覧席は公園側に配置し採光を確保すると共に各書架からアクセスしやすい位置に配置した。
早い使用者に配慮した記述の方がパー 具体的に間隔寸法を記述はパー

(4) 防火区画(面積区画・堅穴区画)をどのように区画形成したかについて、具体的に記述する

【イメージ図記入欄(必ず記入すること)】



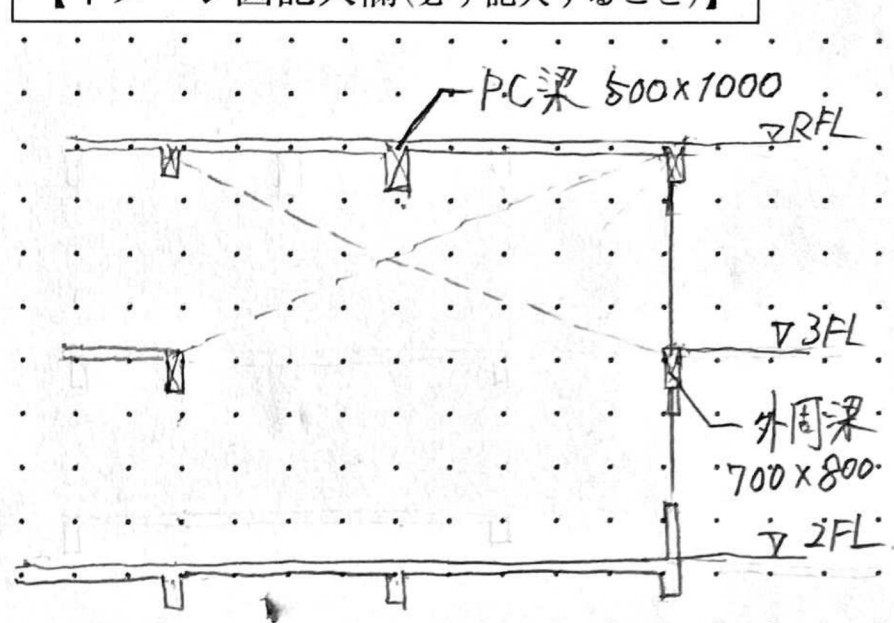
一般開架閲覧室Aについて上部に吹抜があるため面積区画のため吹抜に接する2階部分に特定防火設備を設けた。また階段室及びエレベータは3層分を貫通しているため開口部を特定防火設備とした。
面積区画は ～ どの表現にしてもパー 堅穴区画は ～

(5) 採用した基礎構造の形状、基礎底面のレベル、基礎梁の寸法等について特に考慮したこと

基礎はベタ基礎とし、GL-2.5m×深の石礫層を支持層とする計画とした。基礎底面レベルはGL-2.0mとし、支持層に0.5m×土根入れされるように基礎底面下部に厚さ1.0mの地盤改良を配置する。基礎梁の寸法は梁幅500mm、梁せい2,000mmとし、地盤改良を設けることで経済性に配慮した断面とした。

(6) 吹抜け部分の構造計画について、特に考慮したこと

【イメージ図記入欄(必ず記入すること)】



吹抜部には柱を設けない計画とするため柱を抜いた箇所の梁はPC梁とし、梁断面を500mm×1000mmにて計画して、PC梁を支持する柱は他の柱よりもサイズアップし800mm×800mmとした。また吹抜に接する3FLの外周梁はスラブが取り付けられないため、梁の弱軸剛性に考慮し、梁断面を700mm×800mmとした。
通常より寸法に配慮しているが、外周梁の寸法をサイズアップし、何らかの理由で。

(7) 閉架書庫の書架の荷重に対して構造計画上特に考慮したこと

閉架書庫の書架は通常の開架書庫に比べ重量が大きいため積載荷重を1200N/m²に設定しそれを支持するスラブは厚さを250mm、鉄筋ピッチを150mmとした。また小梁断面も他の小梁よりもサイズアップし400×700mmとし積載荷重に対し過大なため、ひび割れが生じないように配慮した。
Good!!

(8) 建築物の空調計画について特に考慮したこと

効率方式は省エネルギー性能に優れた空冷ヒートポンプチャージユニットを採用する計画とした。空調機械室から各階にDと直線的に立上げ配管のロスが小さくなるよう配慮した。
屈曲部を極力少なくすること

(9) 設備機器の維持管理及び機器の更新について考慮したこと

空調機械室は外部からアクセスできるように扉を配置し、維持管理及び機器の更新が容易になるよう計画した。
記述内容はGoodだが、もう一つ考慮したことを記述できるとパー。

(10) 省エネルギー化の実現及び再生可能エネルギーの導入によるエネルギー自立度を高めるために、建築・設備で配慮したこと(ただし、LED照明、Low-Eガラスに関する記述は除く)

吹抜けを介し自然採光を積極的に取り入れ省エネルギー化に考慮した。屋上に太陽光パネルを配置し、日中に消費する電力の一部を置き換えすることでエネルギー自立度を高める計画とした。

照明による電力消費の

◎ 全体的に記述内容はGood
△ なるべく空白がないように文字数を増やせばより良くなると思います。

村田